

地方共助社会づくり懇談会 in 福岡 次第

日時 平成26年11月29日(土) 9時50分
場所 アクロス福岡 セミナールーム2
主催 内閣府 福岡県
後援 日本政策金融公庫 九州広域営業推進室

9:50 開会挨拶 林崎理 内閣府 大臣官房審議官(経済社会システム担当)

9:55 報告 「共助社会づくり懇談会における主な議論」
林崎理 内閣府 大臣官房審議官(経済社会システム担当)

10:15 パネルディスカッション
「福岡からはじめよう 社会的投資の促進について
～ 共助社会における資金の流れを考える 寄附・出資・融資 ～」

木村 真樹 (公財) あいちコミュニティ財団 代表理事
コミュニティ・ユース・バンクmomom 代表理事
元 内閣府・共助社会づくり懇談会 資金WG専門委員

窪田 広信 カナエール福岡 実行委員長
NPO法人国際教育支援機構スマイリーフラワーズ 理事長

高橋 一郎 西武信用金庫 常勤理事/業務推進企画部長
内閣府・共助社会づくり懇談会 委員

永田 賢介 NPO法人アカツキ 代表理事

(50音順)

進行 / 原口 唯
福岡地域戦略推進協議会スタッフ / NPO法人アカツキ 理事

11:45 閉会挨拶 大曲昭恵 福岡県新社会推進部長

報告



■ 林崎 理

特定非営利活動促進法を担当し、「共助社会づくり懇談会」の運営、「共助社会づくり」の推進に尽力。「経済財政諮問会議」の運営事務局でもあり、50年後の日本の未来像と今後の課題を議論し、政府の審議会として初めて2060年「人口1億人」維持を目標として打ち出した「選択する未来」委員会の運営にも携わる。総務省時代には地方行財政制度の企画立案に携わり、平成6年から7年にかけては福岡県財政課長も務めた。

パネルディスカッション



■ 木村真樹

1977年愛知県名古屋市生まれ。大学卒業後、地方銀行勤務を経て、A SEED JAPAN 事務局長や ap bank 運営事務局スタッフなどを歴任。2005年にコミュニティ・ユース・バンク momo を設立し、若者たちによる“お金の地産地消”の推進や、市民公益活動へのハンズオン支援を行っている。13年4月にはあいちコミュニティ財団を設立し、14年4月に公益財団法人として愛知県から認定。



■ 窪田広信

昭和52年生まれ、大阪府出身。生まれた直後に両親が離婚、男4兄弟の末っ子として母子家庭で育つ。高校卒業後は肉体労働を中心に転職を繰り返し、25歳の時に海外留学がきっかけとなり、帰国後に留学支援会社に就職。その後8年間勤めた企業を退職して株式会社を共同起業。その2年後にNPO法人として再独立。児童養護施設等を中心とした社会的養護下にある子どもたちの教育支援に取り組み、2013年よりカナエール福岡実行委員長に就任。



■ 高橋一朗

西武信用金庫 常勤理事・業務推進企画部長。地域産業支援、コミュニティビジネスを活用した地域経済の活性化等にも尽力。2010年より環境省「21世紀金融行動原則」起草委員会委員、2012年より文部科学省地域科学技術施策推進委員会委員就任。2013年より経済産業省「ITクラウドを活用した経営支援基盤調査研究事業研究会」委員、内閣府「共助社会づくり」懇談会委員就任。



■ 永田賢介

2006年西南学院大学保育科卒業後、大学職員として働きつつ、イベント企画のコーディネーターやデザイン支援を行う「Joy-Box」代表として活動。2012年に独立し、福岡でファンドレイジングを中心にしたNPO対象のコンサルティング支援と、コレクティブスペース「エンガワ」の運営を行うNPO法人アカツキを設立し、代表理事となる。他に、北九州市立大学非常勤講師、福岡市共働促進アドバイザー。

進行



■ 原口唯

2011年に九州大学芸術工学府修了後、合同会社福岡アーバンラボラトリー入社。福岡地域の成長戦略を策定・実行する産官学民の協議会である福岡地域戦略推進協議会にてSIBプロジェクトに従事。2012年からは業務の傍ら、NPO法人を対象にしたファンドレイジング支援を行うNPO法人アカツキの理事を務めるなど、公私共に、産学官民の多様な主体の働きかけによる動的な都市経営に貢献することを目標に活動。

- MEMO -